【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【公表番号】特表2013-526517(P2013-526517A)
【公表日】平成25年6月24日(2013.6.24)
【年通号数】公開・登録公報2013-033
【出願番号】特願2013-510046(P2013-510046)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　47/24　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/107　 (2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/216　 (2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/46　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/14　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/36　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/20　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　47/24
Ａ６１Ｋ　 9/107
Ａ６１Ｋ　31/216
Ａ６１Ｋ　47/46
Ａ６１Ｋ　47/14
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｋ　47/10
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　47/26
Ａ６１Ｋ　47/04
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｋ　47/18
Ａ６１Ｐ　25/20

【手続補正書】
【提出日】平成26年4月18日(2014.4.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
［３－エトキシ－４－［（Ｎ，Ｎ－ジエチルカルバミド）メトキシ］フェニル］酢酸ｎ－プロピルエステルである、置換フェニル酢酸エステル化合物；
５ｗｔ％～１５ｗｔ％で存在する、中鎖トリグリセリド；
大豆由来レシチンである、乳化剤；

張度調整剤；及び
水；
を含んでなり、
場合により、更に、ｐＨ緩衝剤、安定剤、及び添加剤から選択される１つ又はそれより多くのものを含んでなる注入可能なエマルションであって、
ここでエマルションのｐＨが約７より大きく；そして
エマルションの平均液滴径が約２００ｎｍ未満である、
上記注入可能なエマルション。
【請求項２】
置換フェニル酢酸エステル化合物が、約０．２５ｗｔ％～約２５ｗｔ％で存在する、請求項１に記載のエマルション。
【請求項３】
水不混和性溶媒が、約０．１ｗｔ％～約５０ｗｔ％で存在する、請求項１又は２に記載のエマルション。
【請求項４】
張度調整剤が、約０．１ｗｔ％～約２．５ｗｔ％で存在する、請求項１～３のいずれか１項に記載のエマルション。
【請求項５】
ｐＨ緩衝剤が、約０．０１ｗｔ％～約１０ｗｔ％で存在する、請求項１～４のいずれか１項に記載のエマルション。
【請求項６】
ｐＨ緩衝剤が、リン酸ナトリウム、クエン酸ナトリウム、重炭酸ナトリウム、Ｌ－ヒスチジン、又はトリスである、請求項１～５のいずれか１項に記載のエマルション。
【請求項７】
安定剤が、約０．００１ｗｔ％～約５ｗｔ％で存在する、請求項１～６のいずれか１項に記載のエマルション。
【請求項８】
約１ｗｔ％～約１０ｗｔ％の［３－エトキシ－４－［（Ｎ，Ｎ－ジエチルカルバミド）メトキシ］フェニル］酢酸ｎ－プロピルエステル；
約５ｗｔ％～約１５ｗｔ％の中鎖トリグリセリド；
約０．０１ｗｔ％～約５ｗｔ％の大豆由来レシチン；
約０．０１ｗｔ％～約３ｗｔ％のグリセリン；及び
約０．００１ｗｔ％～約１ｗｔ％のオレイン酸を含んでなる、請求項１～７のいずれか１項に記載のエマルション。
【請求項９】
約３ｗｔ％～約９ｗｔ％の［３－エトキシ－４－［（Ｎ，Ｎ－ジエチルカルバミド）メトキシ］フェニル］酢酸ｎ－プロピルエステル；
約６ｗｔ％～約１２ｗｔ％の中鎖トリグリセリド；
約０．３ｗｔ％～約３ｗｔ％の大豆由来レシチン；
約０．１ｗｔ％～約１ｗｔ％のＬ－ヒスチジン；
約０．００１ｗｔ％～約０．１ｗｔ％のエデト酸二ナトリウム；及び
約１ｗｔ％～約２．５ｗｔ％のグリセロールを含んでなる、請求項１～８のいずれか１項に記載のエマルション。
【請求項１０】
更に催眠鎮静剤、鎮痛剤、又は麻痺薬を含んでなる、請求項１～９のいずれか１項に記載のエマルション。
【請求項１１】
鎮痛剤がオピオイドである、請求項１１に記載のエマルション。
【請求項１２】
哺乳類の麻酔又は鎮静を誘導又は維持する治療ための、請求項１～１１のいずれか１項

に記載のエマルション。